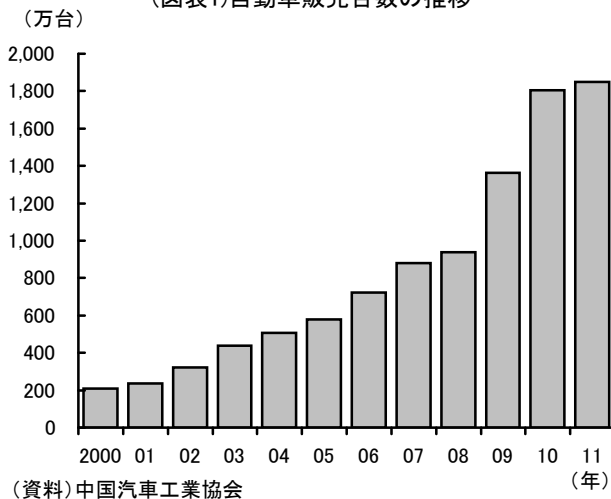


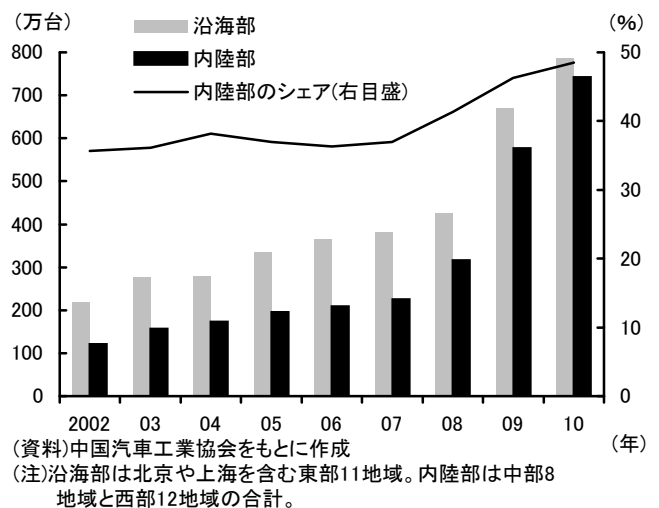
## 拡大する中国内陸部の自動車市場

- (1) 中国では自動車市場が着実に拡大(図表1)。購入支援策を背景とした2009~10年の高い伸びの反動で2011年の販売台数は増勢が鈍化したものの、年間1,851万台という世界最大の市場規模に。
- (2) とりわけ、内陸部の需要増が急ピッチ。2010年には新車登録台数が沿海部とほぼ同水準にまで拡大(図表2)。この背景には、内陸部の所得増加。内陸部の1人あたりG R Pは、沿海部を上回る高い伸びが持続(図表3)。水準でも、2010年には3,515ドルにまで上昇。
- (3) 今後を展望しても、①自動車普及率は20人に1台とまだ低水準にあること、②沿海部より多くの人口を抱えていること、の2点から、内陸部の自動車需要は大きく拡大する見通し。
- (4) ちなみに、直近の所得の伸びが当面持続するとの前提で試算すると、内陸部の1人あたりG R Pは2014年に8,000ドルに達し、自動車保有率も10人に1台にまで上昇する可能性(図表4)。この場合、内陸部の自動車保有台数は8,000万台と、日本全国を上回る規模に。以上の分析に基づけば、今後、内陸部市場の拡大をけん引役に、中国の自動車販売台数は再び増加トレンドに向かう見通し。

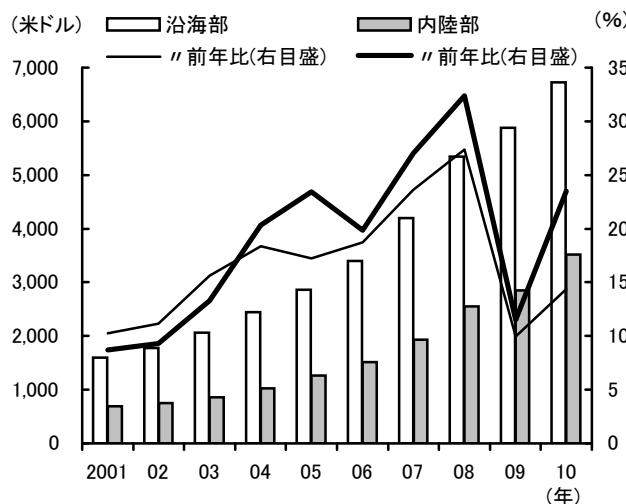
(図表1)自動車販売台数の推移



(図表2)新車登録台数の推移



(図表3)1人あたりGRPの推移



(図表4)1人あたりGRPと1,000人あたり自動車保有台数(2010年)

